

合格に向かう勉強方法 について①

～失敗する5つのタイプから学ぶ合格への道のり～

元介護支援専門員指導者（東京都）
NPO法人介護予防研究会理事
川崎初美

失敗 その1（羞恥心）

知らないことが質問できない
何でも自分で調べようとして
調べ切れない



結果として勉強が停滞する

失敗 その2（時間の使い方）

試験勉強の優先順位が低い
有限である時間を「仕事」
または「気分転換」費やす



結果として勉強不足となる

失敗 その3（学習の偏り）

知ることが好きで勉強熱心
仕事でも役立てようとする



結果として苦手な分野が残り
幅広い知識が身につかない

失敗 その4（意識の低さ）

勉強方法がわからない
合格する自信がないといい
そのまま一夜漬けで受験する



受験への心構えができていな
い（合格率を大きく下げる）

失敗 その5（過信や油断）

受験の勉強方法は知っている
過信・油断・詰めが甘い
曖昧な記憶のまま当日となる



結果として勉強不足となる

合格するための5つのポイント

- ①「合格したい」強い気持ち
- ②勉強する時間の捻出
- ③苦手な分野と知らないだけの分野
今の知識で十分通用する分野を知る
- ④合格のために求められる知識の深さ
を知る
- ⑤あやふやな知識を、しっかりした記憶
にしていく